

## 図版解説

楊渭泉の做パピエ・コレ作品 — 民国期絵画資料 —

鶴田武良

民国期に西洋画を追って、特異な画風を示した幾人かの画家がいる。そのひとりが月光が雲や水面に反射する状景を描いて名を得た陶冷月<sup>(1)</sup>であった。

同じころ、パピエ・コレの効果画筆を試みたのが楊渭泉である。

楊渭泉(一八八五—一九四一存)については作品の款記と『中国画会會員録』<sup>(2)</sup>によって福建省閩侯の出身で、光緒十一年生れ(一八八五)と分る外は『中国文化情報』三十号所載「中国教育並に一般文化界知名の士の動靜十五」<sup>(3)</sup>に名前が挙がっていることから、当時、画家として多少名声のあったことが知られるだけで、その経歴については皆目手懸りがなし、パピエ・コレを做った図以外の作品は知らない。

楊渭泉は、光緒十一年(一八八五)生れということから考えて、例えば『芥子園画伝』のような画法入門書で画法を学び、ついで師について粉本と古画の臨模によって画技を習得するという伝統的な学画の過程を経てきた画家で、彼が西洋画もしくは西洋画法に触れたのは一九二〇年代、三十歳代半ば、画家としての基礎がほぼ完全に出来上った後のことと考えられる。

ところで、ブラックやピカソが新聞紙、切符、模様紙、レットル、さらには羽毛、針金などを貼りつけて、新しい造形効果を狙ったパピエ・コレを始めたのは一九一〇—十一年ごろのことであるが、それが中国で紹介されたのが何年のことであるかはまだ調べを盡していない。また楊渭泉がいつごろからそれを做った作品を画き始めたのかも分からない。

これまでに筆者が確認した作品は、ここに掲出の三点と北京・梅蘭芳紀念館所蔵

の一点、『禮拜』六百四十七期所載の三点、合計七点である。それらはいずれも、古書の表紙や本文、碑帖、瓦磚や貨幣、古銅器などの拓本、雑誌や新聞、切符、マツチのラベル、商品の広告、紙幣、日めくり、馬券、賀状、古画などの断片を貼り付けたと見まちがえるほど細緻に描き込んである。しかし、細部の画法は伝統的なもので、そこには西洋画法の反映は見られない。構図は、いずれも大同小異、とりたてて論ずるほどのことはない。

梅蘭芳紀念館所蔵の一点は、図のほぼ中央に当る部分に、グラビア印刷の円型図版を切り抜いて貼り付けたように梅蘭芳の肖像を描き入れてある。楊渭泉がパピエ・コレを做った作品で知られるようになったのは、主題の新奇さとともに、このように画中に肖像を描き入れたことによるのかも知れない。

『禮拜』六百四十七期所載の三点は、説明によると、王儒堂が米国大統領フランクリン・D・ルーズヴェルト、米国国務長官コーデル・ハル、ドイツ首相ヒトラーに贈ったものであるという。細部のつづれた電子複写からは識別できないが、その三点も、ルーズヴェルト、ハル、ヒトラーの肖像を描き入れたものであった可能性がある。

先に紹介した陶冷月(一八九四—一九七二存)と同じように、伝統的な学画法によって画技を身につけた画家の中から、西洋画の先端的な一面を追求する画家が現われていることは興味深い。民国期には、欧米での新しい美術運動の現象だけを追った画家がまだいるかも知れない。

作品1 (図版Ⅲ、Ⅳ)

断簡残篇

歳次庚午(一九三〇) 秋七月上澣 以應文彬仁兄屬之

古閩楊渭泉戲筆 「楊」(朱文) 「渭泉」(白文)

作品2 (図版Ⅰ、Ⅴ、Ⅵ)

汲冢遺書孔壁經 摹神取影入丹青

莫嫌挂壁無新語 一幅堪為座右銘

乙亥（一九三五）春月元宵後三日 以應心如先生法家雅屬  
 閩侯楊渭泉寫於海上客次 「楊」（朱文） 「渭泉」（白文）

「渭泉金石」（朱文）

斷簡叢殘入覽初 起戡天地入兵符

分明皇祖艱難字 定鑄神州舊版圖

心如尊兄屬題敬綴截句 弟王陸一 「王陸一」（朱文）

王陸一（一八九七—一九四三）は陝西省三原の人。西北大学を経て、一九二五年ソ連中山大学に留学。一九二八年国民党中央執行委員会秘書処書記長となり、のち安徽大学文学院長、監察院秘書長を歴任し、一九三五年国民党第五次中央委員兼民衆訓練部副部長に就任。

作品3（図版II）

莫道陳箋半不全 寸箋隻字足流傳

天傾地陷玄黃劫 付與媧皇補石權

辛巳（一九四二）夏日 以應純農仁兄雅正 楊渭泉

「渭泉」（朱文） 「渭泉所画」（白文）

注

(1) 拙稿「陶冷月について—近百年來中国絵画史研究三—」（『美術研究』三百五十八号）

(2) 民国二十五年刊。『和泉市久保惣記念美術館・久保惣記念文化財団東洋美術研究所紀要2・3・4 民国期美術学校畢業同学録・美術団体会員録集成』に収載

(3) 上海自然科学研究所 昭和十六年十月刊

(4) 中華民國二十五年七月四日刊

(5) 一八八二—一九六一、浙江省奉化の人、名は正廷、儒堂は字。天津北洋大学予科を経て、日本、ついで米國エール大学に留学。一九二二年唐紹儀内閣で工商次長、のち財政総長、外交部長、駐米大使を歴任。

楊渭泉の做パピエ・コレ作品

## 図版要項

- |   |                                     |           |
|---|-------------------------------------|-----------|
| 一 | 楊渭泉筆 做パピエ・コレ作品2（原色版）                | 神奈川 個 蔵   |
|   | 紙本淡彩 扇 縦一〇四・五cm 横三九・〇cm             |           |
| 二 | 同 做パピエ・コレ作品3（原色版）                   | 岐阜 高橋廣峯氏蔵 |
|   | 紙本着色 縦一八・三cm 横四八・〇cm                |           |
| 三 | 同 做パピエ・コレ作品1                        | 同         |
| 四 | 同 部分                                | 同         |
|   | 紙本着色 縦一〇二・八cm 横四八・六cm               |           |
| 五 | 同 做パピエ・コレ作品2                        | 神奈川 個 蔵   |
| 六 | 同 部分                                | 同         |
|   | 一一六 鶴田武良「楊渭泉の做パピエ・コレ作品—民国期絵画資料—」参照  |           |
| 七 | 薬師如来立像 正面                           | 京都 神護寺 蔵  |
|   | 木造 彫眼 像高一七〇・六cm                     |           |
|   | 七 長岡龍作「神護寺薬師如来立像の位相—平安時代初期の山と薬師—」参照 |           |